

## 第2学年 国語科学習指導案

研究主題

「読み解く力」の育成 ～NIEの活用を通して～

- 1 単元名 「同じ ところ、ちがう ところ」（『新しい国語 二下』東京書籍）
- 2 単元の目標

二つの物を比べて同じところと違うところを見付け、それらが明確に分かるように文章に書き表すことができる。

**【知識及び技能】**

- ・ 共通、相違、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる 【(2)ア】

**【思考力、判断力、表現力等】**

- ・ 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。【B(1)ア】
- ・ 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。【B(1)イ】
- ・ 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。【B(1)ウ】

**【学びに向かう力、人間性等】**

- ・ これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、すすんで二つのものについて観点を決めて比較し、書くために必要な事柄を集めたり確かめたりして、分かったことを説明する文章を書こうとする。

3 単元の評価規準

観 点	知識・技能 【知・技】	思考・判断・表現 【思・判・表】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・ 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</li> <li>・ 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二つの物を比べる観点をを用いて、共通点や相違点を探している。</li> <li>・ 単元の学習を振り返り、できるようになったことを今後に生かそうとしている。</li> </ul>

#### 4 目指す児童像

文章や図表等から読み取った大まかな内容を基に、自分の考えについて理由を付け加えたり、順序に気を付けたりしながら、分かりやすく伝えることができる児童。

#### 5 仮説

教科書や新聞などの様々な文章や図表などから、自分が気付いたことや感じたこと、考えたことを文で表す活動に積極的に取り組ませることにより、「読み解く力」を身に付けさせることができると考える。

#### 6 指導観

##### (1) 単元について

本単元では、身近にある二つの物について観点を決めて比較し、同じところと違うところを見付け、読み手に伝わるように整理して文章を書く活動を設定した。二つの物を比べ、共通点と相違点を表に整理する際には観点を設定し、対比、類比の見方で比較する能力の基礎を育てられるようにしたい。さらに、文章を書く際には、表に整理したことを基に、二つの物の共通点と相違点を明確にし、事柄の順序に沿って分かりやすく書くことができる力を育てていきたい。

##### (2) 児童について

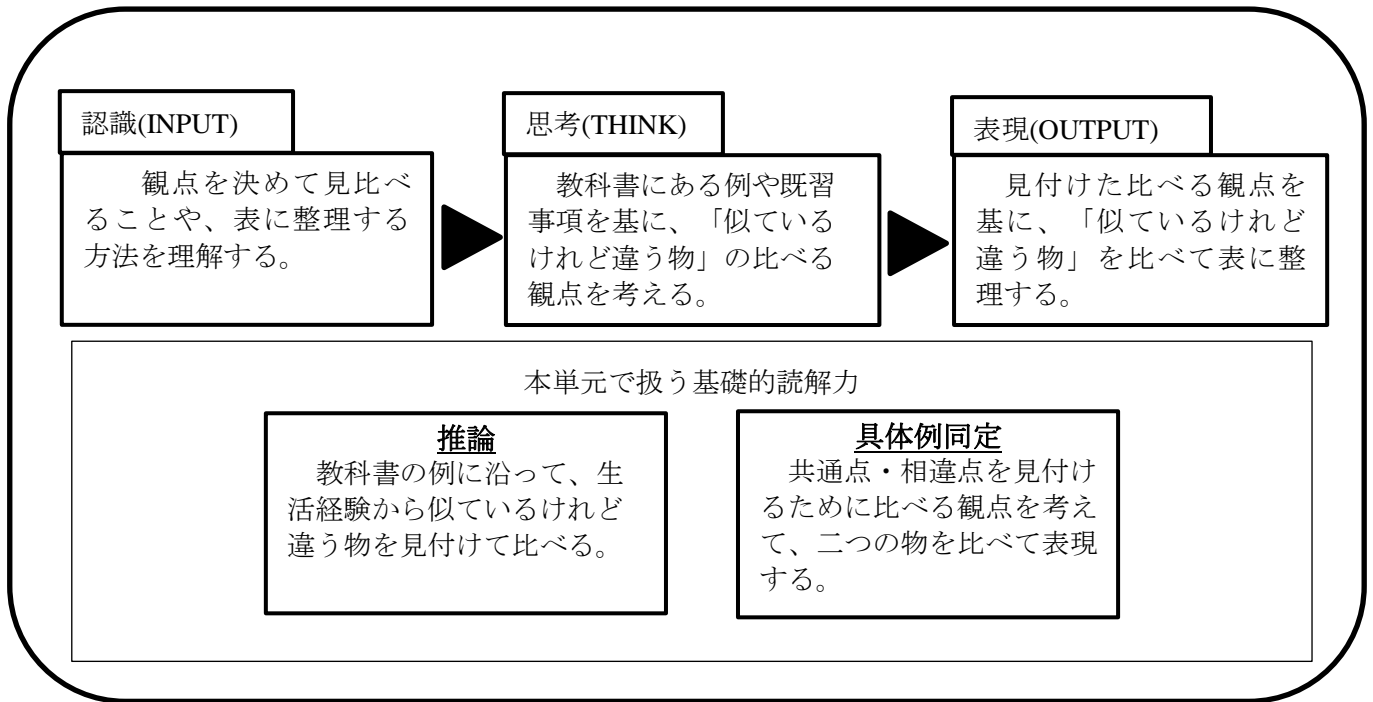
##### (3) 教材について

本単元では、教科書の田中さんの例と自分で選んだ「似ているけれど違う物」を主な教材として使用する。

はじめに、教科書の田中さんの例を活用して、書いてある内容や書き方を理解させる。その後、自分で選んだ「似ているけれど違う物」について、共通点と相違点を表に整理してから、事柄の順序に沿って文章に書いて紹介し合う活動を行う。次に、「似ているけれど違う物」では、児童が見付けた観点に沿って比べさせ、児童が似ていると判断すればそれでよしとするが、担任が事前にどんなものを選んだか確認し、必要に応じて助言する。

## 7 研究主題に迫るための手立て

### (1) 「読み解く力」を身に付けるための指導の工夫



### (2) NIE の活用

NIE タイムを活用し、新聞記事の写真を比べる活動を行っている。似た内容の記事を二つ用意し、写真を比べることを通して共通点や相違点に注目させて活動してきた。児童は活動する中で、始めは写真の主として写る物にのみ注目して見比べていたが、回数を重ねるにつれて背景など、比べる対象の視野を広げて活動できるようになった。さらに、比べる際、どういった点が共通していたり異なっていたりするのかが、観点を明らかにして活動する児童も見られた。本単元の学習では、似ているけれど違う物の共通点や相違点を探していく。その際に、NIE タイムで活動したことが生かされるように指導する。

8 指導計画（全5時間）

	主な学習活動	読み解く力との関連	
		視点	□指導上の留意点◆評価規準☆NIEの活用
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>似ているけれど違う物を自由に発表し、どこが同じでどこが違うか、説明する意欲を高め、学習課題を明確にして、見通しを立てる。</li> <li>教科書の例を参考に、何と何を比べるか決める。</li> </ul>	推論	<p>□二つの物を比べる活動が上手くいかない児童には、教科書と同じ観点をを用いて比べさせる。</p> <p>◆【主】二つの物を比べる観点をを用いて、共通点や相違点を探している。</p> <p>☆NIEタイムで行っている二枚の写真を比べ、共通点や相違点を見付ける活動を想起させる。</p>
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>比べて分かったことを整理する表の書き方を確認する。</li> <li>比べる観点を考えて、二つの物を比べ、表に整理する。</li> </ul>	具体例同定、推論	<p>□教科書の例に沿って、比べる観点を決め、生活経験から似ているけれど違う物を表に整理させる。</p> <p>◆【知】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>◆【思・判・表】経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>☆NIEタイムで行っている二枚の写真を比べ、共通点や相違点を見付ける活動を想起させる。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>比べて分かったことをどのように構成して書くと分かりやすいか、教科書の例を参考にして考える。</li> </ul>	イメージ同定	<p>□表をどのように文章にしたのか理解させるために、教科書の表と文章を見比べさせ、同じところに色で印を付けさせる。</p> <p>◆【思・判・表】自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p> <p>◆【思・判・表】語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>
4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>比べた物の紹介、同じところ、違うところに分けて整理して文章を書く。</li> <li>文章を友達と読み合い、二つの物のどんなところを比べたかを伝え合い、観点を決めて比べたり気付いたことを整理したりして書くことのよさを共有する。</li> </ul>	イメージ同定	<p>□前時に学習した各段落に書くことを確かめさせる。</p> <p>□比べて書くときに使う言葉を意識して使うようにさせる。</p> <p>◆【主】単元の学習を振り返り、できるようになったことを今後に生かそうとしている。</p>

9 本時の学習 (2 / 5)

(1) 本時の目標

二つの物について、観点を決めて比べ、分かったことが明確になるように表に整理することができる。

(2) 展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	□指導上の留意点 ◆評価規準 (方法) ※読み解く力との関連 ☆NIEの活用
導入 5分	○前時の学習を振り返る。 ○本時のめあてを確かめる。	□前時の学習を振り返り、比べたことを表に整理することを確認する。
<p>めあて くらべて分かったことがはっきりするように、ひょうに書こう。</p>		
展開 30分	○比べて分かったことを整理する表の書き方を確認する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10分</span> ・表に整理するときは、何で比べたかを書くときとよい。 ・同じところと違うところを分けて書いた方が見やすい。  ○自分が見付けた「似ているけれど違う物」を比べて表に整理する。(一人) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">15分</span>  ○完成した表を発表する。(全体) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5分</span>	□観点を決めて整理すると分かったことが明確になることに気付かせる。 □観察カードに書いていたことを思い出して、観点を決めさせる。(上p.72) ※推論 □教科書の例に沿って、書く順番を整理することができる。 ☆NIE タイムで行っている二枚の写真を比べ、共通点や相違点を見付ける活動を想起させる。 □観点が見付からない児童にはヒントカードを渡す。 ◆共通、相違、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 【知】(ワークシート) □教科書の例に沿って、生活経験から見付けた似ているけれど違う物を比べる。 ※推論 □共通点・相違点を見付けるために比べる観点を考えて、二つの物を比べて表に整理させる。 ※具体例同定 ◆経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。【思・判・表】(ワークシート)

<p>まとめ 10分</p>	<p>○何に気を付けて表に整理したか確認する。 ・何で比べるかを書く。 ・同じところと違うところを分けて書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>まとめ くらべて分かったことをはっきりさせるために ①何でくらべたかを書く。 ②同じところとちがうところをせいいりして書く。</p> </div> <p>○今日の学習で分かったことやできるようになったこと、考えが深まったところを振り返る。</p>	<p>□児童の振り返りを次時の学習活動に活用する。</p>
--------------------	--	-------------------------------

【授業を見る視点】

(1) 「読み解く力」を伸ばすための指導の工夫について

観点を決めて表に表す学習の流れや授業者の声掛けが、「読み解く力」を伸ばすために効果的であったか。

(2) N I E の活用

二つの物を比べる観点を決めるために、NIE タイムの活動が役に立っていたか。